

JADTA33大会研究発表ガイドライン

(第33回JADTA学術研究大会 研究発表資料原稿作成・申込要項)

2024/07/31 大会実行委員会

第33回学術研究大会での研究発表を希望される方は、この要項の記載内容を熟読の上、申込締め切り(2024年8月31日(土))までに、大会公式サイトでの演題申込みフォームから「抄録」を送信してください。

大会公式サイト:<https://jadta.org/conf/c33>

1. 発表資格

- ・発表者(連名発表者含む)は、発表申込時および大会開催時点で日本ダンス・セラピー協会会員でなければなりません。(非会員の方は当協会への事前の入会が必要です)
- ・発表者(連名発表者含む)は、第33回大会参加申込みと参加費振込を10月25日(金)までに必ず終わらせてください。

2. 発表形式

・「実技発表」

会場での対面発表です。主な現場と対象者、ダンスセラピー・セッションの目的を明示し、大会参加者が体験できる形式の中で、ダンスセラピーの一連の実技内容などを提示する発表形式です。講義的な解説の部分は最少限にとどめ、体験する大会参加者からのフィードバックを重視する構成を心がけてください。参加者はリアクションペーパーを提出します。

1枠60分 (実技発表45分 質疑応答15分)

・「技法交流」

会場での対面発表です。主な現場と対象者、目的などを明示し、セッションを構成するダンスセラピーの様々な技法を大会参加者が体験しながら交流する発表形式です。「技法」には身体的エクササイズなどの内容、あるいは参加者とのやりとりに関わる対応方法などが挙げられます。参加者はリアクションペーパーを提出します。

1枠30分 (技法発表20分 質疑応答10分)

・「ポスター発表」

会場にポスターを貼り出して研究結果や実践内容などを発表する「ポスター発表形式」です。

ポスター発表者の在籍時間は30分程度を予定。

3.研究倫理

- ・ 調査や実験など人を対象とした研究を行う場合は、研究の実施および発表について、協力者および研究実施機関の承諾を得てください。協力者が未成年の場合は保護者の承諾が必要です。倫理審査委員会等による審査が必要な場合は、その承認を得てください。
- ・ セッションの経過を発表する場合には、クライアント・参加者(未成年の場合は保護者)およびセッションを行った機関の了承を得てください。
- ・ 発表申し込み時に、演題申込みフォームの「倫理チェックリスト」(下記参照)にチェックをしてください。
- ・ 発表申し込み受付後、ポスター発表原稿、また実技発表時や技法交流時に当日使用予定の資料があれば、10月15日までに提出していただき、倫理チェックを行います。いずれも必要に応じ修正をお願いする場合があります。方針に同意していただけない場合は発表申し込みを受け付けられない可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。なお、倫理チェックは研究倫理に関する点に限り、チェックリスト項目に沿って行います。
- ・ 特に、実技発表で画像・映像・音源等を使用する場合や、ポスター原稿に画像を掲載する場合は、抄録に具体的に記載する必要はありませんが、以下の事項を念頭に置いた上で抄録を作成してください。(「6.発表当日資料提出」も参照してください)
- ・ 抄録作成および研究発表の際に特に留意が必要な点は以下の通りです。

1 個人情報の取り扱い

- ・ 守秘義務について十分に配慮してください。氏名や地名等については、固有名詞は一切使わず、実名と関係のないアルファベット等で表記してください(例:Aさん、B県、C病院など)。また、職業名は一般的な分類にとどめ、年齢やセッションの実施時期は実数ではなく、特定しにくい表記としてください(例:会社員、専門職、X年~X+3年、30代など)。
- ・ セッション場面の写真や動画を発表に使用する場合、対象者に承諾を得てください。(モザイクならOKなどの条件についても確認してください)
- ・ 個人情報保護の方法について、あらかじめ対象者に具体的に説明し、同意を得てください。可能な限り文書で説明し、署名を得ることが望ましいです。

2 著作権の取り扱い

- ・ 実技発表において楽曲を使用する場合、発表者本人が音楽著作権の有無等について確認し、適切な

対応を行っていただくようお願いします。

3 利益相反の開示

- ・ 研究における利益相反とは、「外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態」(厚労省,2021)を指します。
- ・ 研究助成を受けた研究について発表する場合は、「助成を行った団体・機関名」、「研究課題名」、共同研究の場合は「研究代表者名」を発表資料(ポスター原稿等)に記載してください。
- ・ 利益相反の有無について、発表資料(ポスター原稿等)に記載してください。

【倫理チェックリスト項目】1～6

1. 守秘義務について十分に配慮して記述した(氏名、地名、職業名、年齢、セッションの実施時期等について、アルファベットや一般的分類を使用した)。
2. (調査・実験結果を発表する場合)協力者(未成年の場合は保護者)および研究を行った機関の承諾(必要な場合は研究倫理審査委員会による承認)を得た
3. (セッションの経過を発表する場合)クライアント・参加者(未成年の場合は保護者)およびセッションを行った機関の承諾を得た
4. (セッション場面の写真や動画を発表に使用する場合)対象者に承諾を得た(モザイクならOKなどの条件についても確認した)
5. (研究助成を受けた研究について発表する場合)「助成を行った団体・機関名」、「研究課題名」、共同研究の場合は「研究代表者名」を発表資料(ポスター原稿等)に記載することを了解した
6. 利益相反・研究助成について、発表資料(ポスター原稿等)に記載することを了解した

4.発表申込

- ・ 大会公式サイト(演題申込みフォーム)に、必要事項とともに「抄録」を入力してください。
- ・ 締切日(8月31日(土))を過ぎると申し込みできません。
- ・ 発表者が複数の場合は、申込者を筆頭発表者とみなします。筆頭発表者の氏名は、抄録の発表者名の筆頭に記載してください。筆頭発表者以外の発表者は連名発表者となります。
- ・ 筆頭発表は一人一題としてください。なお、実技発表、技法交流、ポスター発表それぞれ一題ずつの申込が可能です。

5.抄録作成

(1) 構成

- ・実技発表・技法発表・ポスター発表いずれも400字以内で作成してください。
- ・「3.研究倫理」を熟読した上で準備してください。
- ・演題申込みフォームに直接入力して提出してください。

(2) 実技発表 — ダンスセラピーの一連のセッションについて

- ・以下の要素で構成し、内容・形式共に学術研究にふさわしい記述をしてください。
①実技のテーマを適切に表現する表題、②主な対象者・発表の目的、③実技の紹介、④当日の発表の構成・留意事項等(身体運動の強度、身体接触の有無等)

(3) 技法交流 — 現場で用いるダンスセラピーの技法について

- ・以下の要素で構成し、現場実践での有効性が伝わるように記述してください。
①技法を適切に表現する表題、②主な対象者・技法の目的、③技法の紹介、④当日の発表の構成・留意事項等(身体運動の強度、身体接触の有無等)

(4) ポスター発表

- ・以下の構成を参考に、内容・形式共に学術研究にふさわしい記述をしてください。

(調査研究など)

- ①研究のテーマを適切に表現する表題、②目的、③方法、④結果、⑤考察

(事例研究・実践報告など)

- ①研究のテーマを適切に表現する表題、②研究の目的・意義、③事例・実践の簡略な紹介、④セッションの方法の提示、⑤セッションの経過の簡潔な記述、⑥事例・実践を基にした、研究テーマに関する考察

6.発表当日資料

発表当日資料は、発表申込み(抄録提出)後、大会実行委員会宛にメール添付で、10月15日(火)までに送信してください。内容のチェックを行います。

(1)発表当日の資料あるいは画像・映像・音源の使用

- ・実技発表、技法交流、ポスター発表において当日使用する資料については、「3.研究倫理」を熟読した

上で作成・準備してください。

なお、配付資料等は、発表者自身で必要部数を用意してください。残部の回収、あるいは回収する必要のある資料は発表者の責任で回収してください。

・実技発表の会場では、HDMI・VGA 対応のプロジェクター、あるいはDVD プレーヤー、その他の機器の使用を希望される場合は、事前の打ち合わせや動作確認が必要ですので、あらかじめお申し出ください。パソコンを使用したい場合は各自で用意してください。Wi-Fi によるインターネット接続はできません。

(2)ポスター原稿作成・提出

・ポスター原稿はPDFファイルで提出してください。パネルのサイズ(120cm×180cm)のサイズに収まるポスター(A0サイズ程度)か、あるいはパワーポイント的な形式で、枚数はA4サイズ15枚(3列5段)ほどを目安にしてください。動画・音声を含まないものを作成してください。

・「3.研究倫理」を熟読した上で作成してください。

・引用・参考文献リストを末尾に記載してください。

7.大会参加・研究発表に関する確認・注意事項

・研究発表に関連して提出された個人情報や倫理チェック用の資料等は、大会実行委員会で管理し、第三者に提供されたり、他の目的で使用されたりすることはありません。

・大会参加者には以下の留意事項を遵守していただきます。なお、大会参加申込をしていない人が大会会場に入場することはできません。

JADTAの学術研究大会では、個人情報保護法案のもと、発表者・参加者共に、自由な写真撮影や録画、生配信、研修情報のダウンロードなどを禁止しています。写真撮影などが必要となる場合はあらかじめ大会実行委員会の許可を受けて下さい。また公開される研究情報にも著作権が発生します。なお、データについての引用や今後の研究に必要な場合は、期間中に発表者にご相談をお願いします。

・対面大会における新型コロナウイルス等感染症対策として、来場前にはご自身で体温を測り、感染の可能性がある場合は大会本部に連絡の上、来場しないようにしてください。また、会場でも体温を計測させていただきます。37.5度以上の発熱があった場合には入場をお断りします。発表者の場合、発表は中止とします。大会中、マスク着用を推奨いたします。

8.今後の演題発表スケジュール

・発表申し込み(抄録)締め切り:8月31日(土)

→ 実行委員会から「発表申し込み・抄録」確認メールが送信されます。

→ 必要があれば実行委員会から抄録の修正依頼①をいたします。

・プログラム・抄録公開予定（大会公式サイト 9月30日）

・発表当日資料の提出締め切り:10月15日(火)

→ 実行委員会から「発表当日資料受付」確認メールが送信されます。

→ 必要があれば発表当日資料の修正依頼②をいたします。

・大会参加費納入（10月25日締め切り）

・発表資料修正完了(10月31日)

9.連絡先

日本ダンス・セラピー協会第33回学術研究大会実行委員会

taikai@jadta.org